



ほけんだより



7月号

園庭に降り注ぐ日ざしがまぶしくなり、水遊びやプールが楽しい季節を迎えました。蒸し暑い時期は体力の消耗が激しく夏に流行する感染症もあるので体調管理には気を配り、また、熱中症にならないよう注意していきましょう。

夏に流行しやすい感染症

流行性角結膜炎 ★登園許可必要です★

原因 目とまぶたの裏側を覆っている結膜にアデノウイルスが感染して起きる炎症。ウイルス性の結膜炎の中で最も感染力が強くタオルの共有、手指の接触により感染する。

症状 まぶたの腫れや異物感、痛み、充血、目やにですが、発熱や下痢を伴うこともあります。

対応 完治まで2～3週間かかり結膜炎症状消失からの登園となります。

咽頭結膜熱（プール熱） ★登園許可必要です★

原因 アデノウイルスによる飛沫感染で、目やにや便から感染する事もあります。プールの水を介して感染する事があるので「プール熱」と呼ばれています。

症状 39℃以上の発熱と喉の痛みがあり目のかゆみ、痛み、充血、涙など結膜炎のような症状が出るのが特徴です。

対応 症状消失から2日経過してからの登園となります。

とびひ

原因 虫さされや湿疹をかきむしった後に黄色ブドウ球菌が感染し発症します。

症状 皮膚に水泡ができ、破れて赤くむけたような状態になり発熱する事もあります。

対応 主な治療は抗生剤使用ですが、衣服を清潔に保ち、患部をガーゼなどで覆うなどして登園となりますが、覆えないような部分の場合は登園を見合わせて頂くこともあります。

体調に何かありますになる点がある場合は登園時お伝えください。また集団感染を予防するため症状により病院受診後の登園をお願いする場合があります。



熱中症予防

蒸し暑い夏がやってきました。園では涼しい場所でこまめに休息をとり、適度な水分を補給するように心掛けています。健康で快適な夏の生活を送るためにも規則正しい生活習慣を大切にしてください。十分な睡眠とバランスの良い食事を工夫し生活リズムを整えながら暑さに負けない体力づくりをして夏を乗り切りましょう。